

西南日本の深部低周波微動・短期的スロースリップ 活動状況（2010年5～7月）その1

- 短期的スロースリップイベントを伴う顕著な微動活動
 - 5月23～28日：紀伊半島北部．活動域は北から南へと拡大．（2009年10月以来，約7ヶ月ぶり）
- 上記以外の主な微動活動
 - 紀伊半島：7月22～24日に南部で，その後7月25～26日に中部で活動．
 - 四国中部：5月1日～7日．○ 四国東部：7月21～29日．愛媛・徳島県境付近で開始，その後東へ移動．
 - 四国西部：7月7～14日 ○ 豊後水道：断続的な活発化．6月以降は，やや発生レート減少．

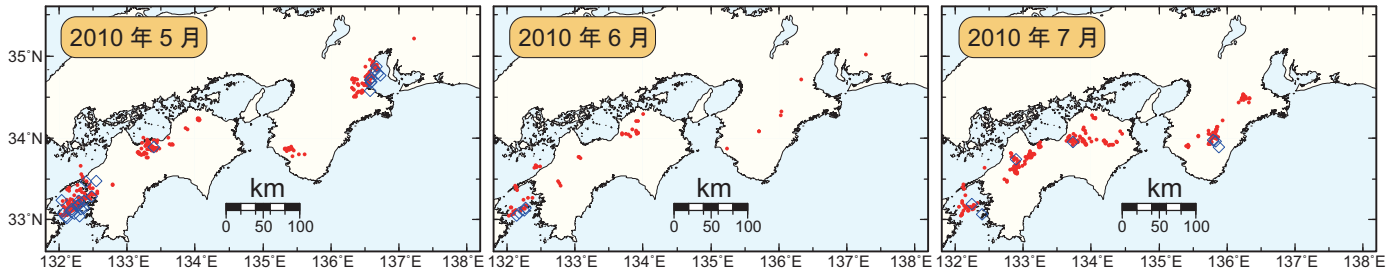


図1. 西南日本における2010年5～7月の1ヶ月毎の深部低周波微動活動．赤丸が当該期間の微動の震央位置で，エンベロープ相関・振幅ハイブリッド法 (Maeda and Obara, 2009) 及びクラスタ処理 (Obara et al., 2010) において，1時間毎に自動処理された微動分布の重心である．青菱形は周期20秒に卓越する深部超低周波地震 (Ito et al., 2007) である．

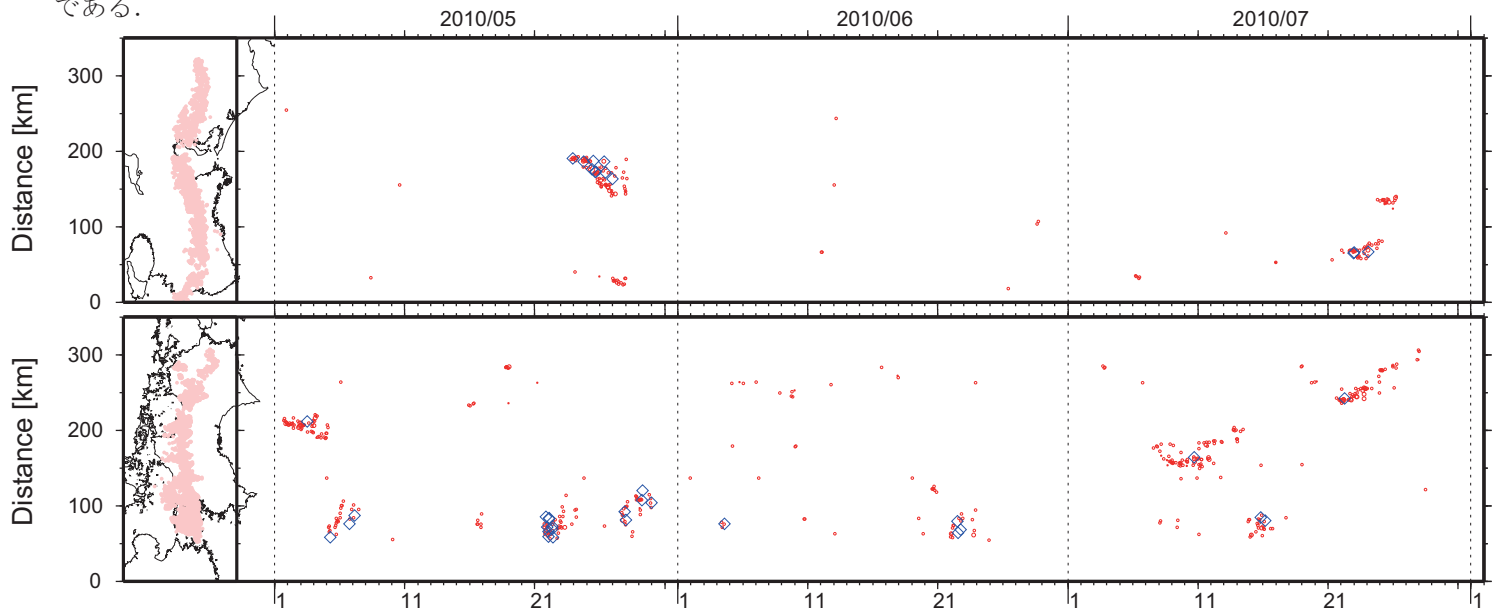


図2. 2010年5月～7月までの3か月間の深部低周波微動（赤）及び，深部超低周波地震（青菱形）の時空間分布．

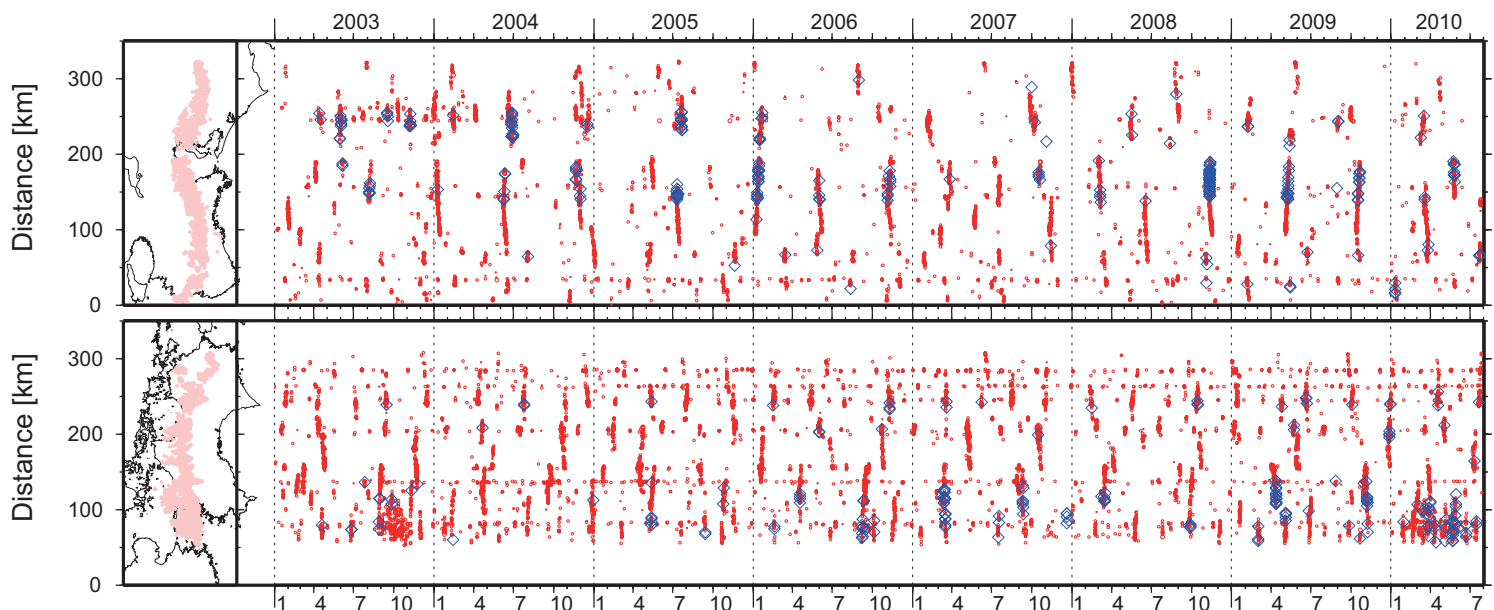


図3. 2003年1月～2010年7月までの深部低周波微動（赤）及び，深部超低周波地震（青菱形）の時空間分布．